

LONSEAL

WATER PROOFING SYSTEMS

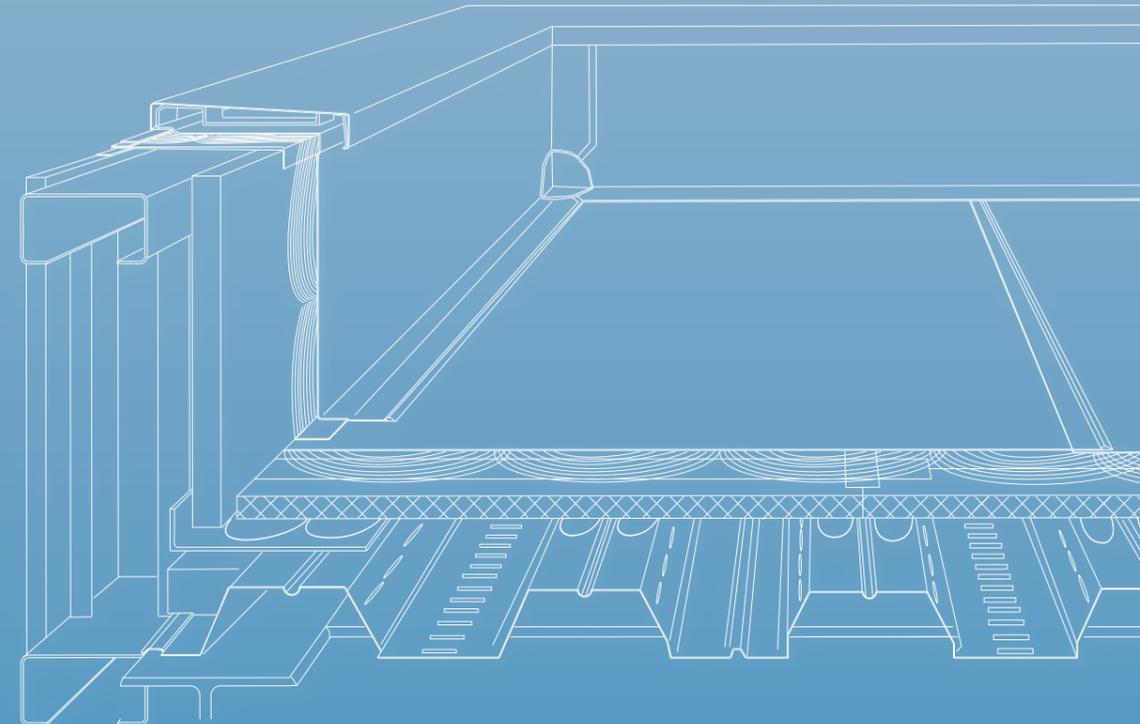
環境対応型・高断熱

【耐火デッキ下地屋根 ネオマフォーム接着高断熱工法】

SD-B仕様 『122D仕様』

(Steel Deck - Bonding method)

接着工法専用断熱材
「ネオマ[®]フォームMK」
使用



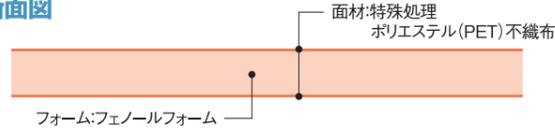
ロンシール

接着工法用フェノールフォーム断熱材

ネオマ[®]フォーム MK

JIS A 9521 フェノールフォーム断熱材1種2号CII

断面図



製品規格

| 品番 | 密度 | 厚さ | 幅×長さ |
|--------|---------------------|------|---------------|
| 35S-MK | 40kg/m ³ | 35mm | 910mm×1,800mm |
| 50S-MK | | 50mm | |

※上記以外の厚さはございませんので、厚さ選択の際にはご注意ください。
 ※ラベル等の製品名表示は「ネオマフォーム」、品名「*S-MK」となります。
 ※「ネオマフォームMK」は旭化成建材株式会社の製品です。
 ※受注生産品ですので、ご注文前に必ず、納期・数量をご確認ください。

使用上の主な注意事項

- ・非歩行屋根限定です。歩行用途には対応出来ません。メンテナンス等の際の通路となる部分にも、ネオマフォームに過度な荷重が加わらないような配慮が必要です。
- ・ネオマフォーム保管の際は、地面や床(スラブ)等に触れないよう台木の上に設置するとともに、シート掛け等を行い、雨水養生してください。
- ・降雨、降雪が予想される場合、下地の乾燥が不十分な場合及び気温が著しく低い場合には、接着剤の施工は行わないでください。
- ・ネオマフォーム敷設後防水工事完了までの間は、ネオマフォームに雨水が浸入しないように措置してください。ネオマフォームの断熱性能低下、吸水による膨れが生じる可能性があります。
- ・断熱材は直射日光や湿気により変形が起こる可能性があるため、必ず1日の施工範囲のみ敷設してください。
- ・ネオマフォーム敷設後防水工事完了までの間、出入り通路等、歩行が集中すると予想される箇所は、ネオマフォームに集中荷重が加わらないように鉄板等で養生してください。
- ・デッキプレートの谷部上で集中荷重が加わると、ネオマフォームに割れを生じるおそれがありますので、荷重を分散できるよう、面材での養生・より厚いネオマフォームの使用など十分ご配慮ください。
- ・吸水による断熱性能低下、膨れが生じる可能性及び結露発生リスクを減らすため、工事中などに雨水が浸入しないように措置してください。
- ・断熱材は直射日光や湿気により変形が起こる可能性があるため、必ず1日の施工範囲のみ敷設してください。

ロンシールのシート防水システムは確かな性能と品質を実現しています。

豊富なシートバリエーションによりデザイン性をアップ

耐候性を考慮し、豊富なカラーバリエーションのルーフィングは、様々な屋根と調和することができます。紫外線などによる変色もほとんどなく、保護塗料の塗り替えもありません。



一般ルーフィング：全6色
 ホワイトグレー・ブラウン・グリーン・グレー
 ライトグリーン・ダークグレー
 シャネツルーフィング：全2色
 ホワイトグレー・グレー

工期短縮とコスト低減を実現

新築・改修いずれの場合にも、下地処理が容易です。特に改修時は、既存防水層を撤去せずその上からかぶせて施工できる「ダイレクトカバー工法」により、コスト低減と工期の短縮を実現しました。



基本物性比較

| 商品名及び断熱材の種類 | ネオマフォーム MK | ネオマフォーム | JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム3種bA | JIS A 9521 複質ウレタンフォーム2種2号A |
|--------------------------------------|------------|---------|------------------------------|----------------------------|
| 密度 (kg/m ³) | 38以上 | 27以上 | 25以上 | 25以上 |
| 熱伝導率 (W/m・K) | 0.020以下 | 0.020以下 | 0.028以下 | 0.024以下 |
| 曲げ強さ (N/cm ²) | 70以上 | 40以上 | 25以上 | 15以上 |
| 圧縮強さ (N/cm ²) | 22以上 | 15以上 | 20以上 | 8以上 |
| 吸水量 (g/100cm ²) | 0.9以下 | 1.7以下 | 0.01以下※ | 3.0以下 |
| 透湿係数 25mm厚 (ng/m ² ・s・Pa) | 31以下 | 38以下 | 145以下 (スキム層なし) | 40以下 |

※ネオマフォームの物性値は、測定データを基にした一般的な値。但し、熱伝導率は製品規格値。
 <試験方法> ■密度、曲げ強さ、圧縮強さ、吸水量、透湿係数：JIS A 9521、JIS A 9511
 ■熱伝導率：JIS A 1412

ネオマフォーム以外の物性値は、「JIS A 9521 建築用断熱材」(2017)によります。

溶剤溶着・熱風融着で、シート同士を一体化

ルーフィング同士の接合は接着剤を使用せず、溶剤または熱風でとかして接合することで、抜群の水密性を発揮します。



汚染物質や塩害にも強い耐薬品性

海岸地域の塩害、工業地域の酸性雨や汚染物質による物性の変化が少なく、建物を保護することができます。

高い強度を誇るすぐれた耐圧縮性

塗膜防水やゴム系シート防水に見られる、カラスのついばみによる穴あき事故が発生しにくいことが実証されています。

ロンシール工業株式会社

ホームページアドレス <https://www.lonseal.co.jp/>

防水事業部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

ロンプルーフ防水事業協同組合

ホームページアドレス <http://www.lonproof.or.jp/>

事務局 〒130-0021 東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F TEL.03-5600-4036(代) FAX.03-5600-4037

- 印刷の都合上、掲載の写真等は実際の色柄とは多少異なる場合があります。 ●掲載内容の仕様、物性、品質等については予告なく変更となる場合があります。
- 当パンフレットは、仕様・商品の概略のみを記載しています。詳細につきましては「シート防水システムカタログ」、「ネオマフォーム建築・産資総合カタログ」をご覧ください。
- ネオマフォームMKの詳細については、旭化成建材(株)までお問い合わせください。 ●ご使用にあたっては、関連法規及び技術資料に従って適切に使用してください。 ●当パンフレットの無断転載を禁じます。

KRK 弊社は40年の実績を誇るシート防水材料の優良メーカーの団体である当工業会の加盟会社です

合成高分子ルーフィング工業会
<https://www.krkroof.net>

お問い合わせ・お申し込みは _____

2022年4月版

2022.03.S3.1.G.G

【耐火デッキ下地屋根 ネオマフォーム接着高断熱工法】

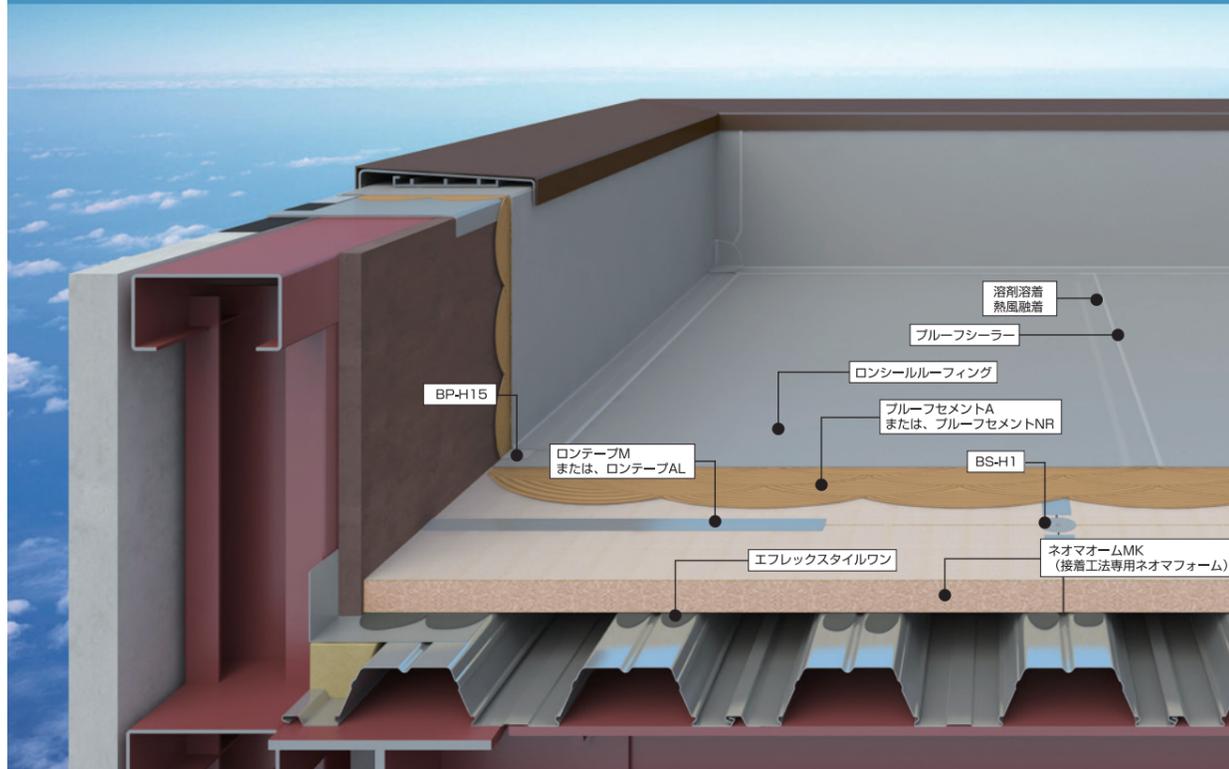
- 環境対応型仕様
- 露出
- 接着
- 断熱
- 金属
- 金属
- 非歩行
点検程度の歩行は可能
- 改修対応

SD-B仕様 『122D仕様』

(Steel Deck - Bonding method)

耐火デッキプレートに「ネオマフォーム」を直接接着固定。
シートも接着固定するため、すぐれた断熱性能と耐風圧性能を実現します。

イメージ図 122D仕様（デッキプレート下地）の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



122D（ネオマフォーム接着高断熱工法）仕様表【断熱材厚さ50mm以下】

| | |
|-------------|--|
| 適応下地 | 金属 |
| 下地処理 | (下地状況により) 防錆処理・外周部下地鋼板固定 |
| 断熱材 接着剤固定 | エフレックススタイルワン (変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤) + ネオマフォームMK (接着工法専用ネオマフォーム・フェノールフォーム断熱材) |
| 入隅鋼板固定 | BP鋼板 (BP-H15・BP-H3N等) + セルドリルビス (SDテックビス シカク等) / ロンテープMまたは、ロンテープAL・BS-H1 |
| 接着剤(平場・立上り) | ブルーセメントA (0.35~0.45kg/m ² ・片面) または、ブルーセメントNR (0.4~0.6kg/m ² ・両面) |
| ルーフィング | ロンブルーシャネツ (LSN) / ロンブルーフェース (LA) / ベストブルーシャネツ (BSN) / ニューベストブルーフ (NBP) / ベストブルーFRS (BRS) / ベストブルーフ (BP) / ベストブルーフ ナンネン (BPN) |
| ルーフィング接合 | 溶剤溶着 熱風融着 ブルーシーラー |
| 端部処理 | ブルーアングル・アルミ笠木・BP鋼板・ロンシーラント |

■ 接着工法によりフラッターリングを抑制

接着工法の採用により、フラッターリングが抑制され、長期的にもビス抜けのリスクを軽減します。

■ 接着工法専用ネオマフォーム

従来品よりも面材とフォームの接着強度を高めた接着工法専用ネオマフォーム「ネオマフォームMK」を開発。特殊面材を採用することによりフォームと面材の接着強度を向上させ(接着強度: 9.8N/cm²以上)、接着工法対応が可能になりました。

※ネオマフォームMKは、本工法におけるネオマフォームの呼称です。

■ ネオマフォームの高断熱性能・耐熱性・耐燃焼性能

ネオマフォームの高断熱性で硬質ウレタンフォームの既存断熱材よりも断熱性能を約20%向上させ、省エネルギーに貢献します。

また、耐熱性にすぐれ、炎天下での熱変形を抑制できるとともに、溶接火花等により燃え広がることもなく安心です。

■ 薄層でもすぐれた断熱性を発揮

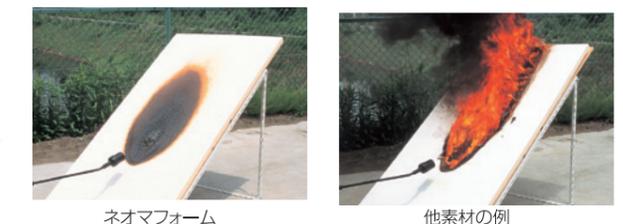
他素材の断熱材よりも薄層で、同等の断熱性能が得られます。

熱抵抗 2.5 (m²・K/W) の場合の厚さ比較



■ 安心の高い耐燃焼性

「ネオマフォーム」に炎を当てても炭化するだけで燃えあがることはありません。



■ 断熱材の固定は接着剤とビス併用方式

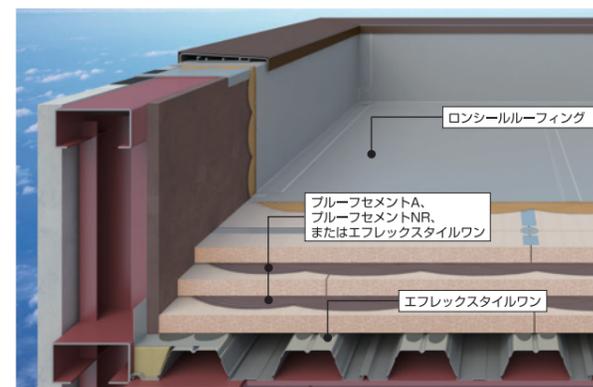
金属デッキ下地への断熱材の固定は、接着剤と固定用ディスク併用。更に安全性が高まります。

■ コストパフォーマンス・工期短縮

下地には、耐火デッキプレートを採用。コストパフォーマンスにもすぐれ、工期も短縮できます。

断熱材厚み50mmを超える高断熱仕様にも対応します。

【飛び火認定番号:DR-2034】



断熱材厚さ35mm・50mmの組合せの範囲で、150mm以下の高断熱仕様に対応します。

《組合せ可能厚み》
70・85・100・105・120・135・150mm
※上記以外の組合せは対応できません。

認定の詳細につきましては、飛び火認定書をご確認ください。

※ベストブルーFRSは認定の対象外となります。